

市民サービスの維持・向上

鶯別支所若草分室と登別温泉支所については、人口減少などに伴い、利用が減少しており、両施設を廃止した場合であっても、住民票など、各種証明書の交付を受けることができるコンビニ交付システムを導入することで、利便性を維持できることから、このシステムを平成31年度に導入することとし、鶯別支所若草分室については、平成31年度末を目途に廃止することとします。

コンビニエンスストアなどで交付を受けることが可能となる予定の証明書など

- ・住民票の写し
- ・全部事項証明書(戸籍謄本)
- ・個人事項証明書(戸籍抄本)
- ・戸籍の附票の写し
- ・印鑑登録証明書
- ・所得証明書
- ・所得課税証明書

※コンビニ交付システムの利用には、マイナンバーカードが必要です。

途に廃止することとし、準備を進めていきます。

住環境の確保

市営住宅については、先般実施した基礎調査による今後の需要見直しなどをふまえ、将来の目標管理戸数や事業手法などを定める『登別市営住宅等長寿命化計画』を平成31年度中に改定します。

また、現在建設中の千代の台団地につきましては、1号棟56戸のうち32戸について、平成31年度末までの供用開始を目

指します。

将来に向けた施設のあり方を検討

廃棄物処理については、白老町と当市において、クリンクルセンターの維持管理や再延命化、新たな施設への更新などに要する経費の精査、更新時期などについて、具体的な検討を始めるとともに、広域処理のあり方について現時点における課題などを整理し、共通認識のもと、しっかりと協議を行っていきます。

さらに、ごみ量の減少や負担の公平性などをふまえ、ごみ処理手数料やごみ処分手数料の改定も含めた検討を進めていきます。

また、クリンクルセンターの高速堆肥化処理施設については、生ごみの再資源化による循環型社会の形成に資する施設として運用してきましたが、施設の老朽



クリンクルセンター

センターから出す堆肥化処理施設
給水塔や給水タンクなど「高速堆肥化処理施設」

化に加え、生ごみの再資源化処理の効率性が低く、さらには、施設整備に係る費用などの増大が見込まれることから、施設の廃止に向けた検討を進めていきます。

生活を支えるライフライン

水道事業については、給水人口や必要の減少が見込まれており、安全安心な水を供給し続けることができるよう、中長期的な視点のもと、平成31年4月に水道料金を改定することとしたところです。

今後においても、経営状況を的確に把握し、徹底した経営の効率化や施設管理の見直しを進め、経営健全化に取り組んでいきます。

また、水道施設整備については、老朽化した登別温泉浄水場の建て替えを引き続き進めるとともに、若草第一配水池の耐震化とこれに伴う送配水管の更新を進めます。



浄水場を見ながら配水第一配水池
市街地を第一配水池

旧登別温泉小学校跡地への建て替えを進める登別温泉浄水場



簡易水道事業については、平成31年4月から公営企業会計へ移行するため、先般策定した『登別市簡易水道事業経営戦略』により明らかとなった経営状況や課題をふまえ、老朽化した施設の改修や更新に必要な財源の確保に向け、料金改定について検討していきます。

将来あるべきまちの姿をつくる方針

長期的視点に立った都市の将来像を明確にし、実現への道筋を示す都市計画マスタープランについては、『市民アンケート調査』や『子育て世代親子アンケート調査』などの結果をふまえ、市民会議や策定委員会など、多くの市民の参画をいただきながら検討を重ね、地域の特性や実情をふまえた、将来あるべきまちの姿をつくる方針となるよう、2021年度末を目途に見直し案の策定を進めていきます。

また、居住機能や医療、福祉、商業、公共施設、公共交通などのさまざまな都市機能の誘導や将来の人口構成を見据えた市街地の集約化を図る『立地適正化計画』については、多様性を有し、個性が生きるまちを目指し、都市計画マスタープランの市民会議において、立地適正化計画の目的や目標、必要性など、市民の皆さんと協議を進め、都市計画マスタープランの策定とあわせ、検討してまいります。